



## 企業の環境対策における KAB の貢献

### ■KAB (Kataoka Aggregate Bacteria : 片岡複合菌) は

- ・KAB はバイオレメディエーション技術として利用いただく機能強化複合微生物群製剤です。  
(高機能バイオ製剤)
- ・環境課題におけるソリューション技術として企業・公共団体等で活用されています。
- ・産業廃棄物のゼロ化(排出しない仕組みづくり)や高度な水(廃水等)処理、汚染の浄化等によってゼロエミッションの実現、CO<sub>2</sub>削減等に寄与します。
- ・主に、廃水処理における「余剰汚泥ゼロ化」で企業のCSR目標の達成に貢献しています。

### ■KAB は以下の世界的な取り組みに準拠した企業レベルの取り組みに貢献

取り組み ※下記の取り組みは相互に連動している	目標年 (レベル)
<b>CN (Carbon Neutral : カーボンニュートラル&lt;炭素中立&gt;)</b> ▶KAB による貢献…産業廃棄物削減による CO <sub>2</sub> 削減、水の浄化 (カーボンプライシングの活用)	2050 年 (世界)
<b>SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)</b> ▶KAB による貢献…目標 6、12、13、14、17	2030 年 (世界)
<b>UNGC (United Nations Global Compact : 国連グローバルコンパクト)</b> ▶KAB による貢献…「環境」分野 原則 : 7、8、9	継続的取り組み (世界・企業)
<b>CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任)</b> ▶KAB による貢献…産業廃棄物(余剰汚泥・廃油・残渣等)の削減等	継続的取り組み (企業)

※株式会社ジャパンフォーシーズンズは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

### ■バイオレメディエーション

微生物等の働きを利用して汚染物質を分解等することによって環境汚染の浄化を図る技術のことをいいます。バイオレメディエーションには、以下の3種類があります。

①バイオオーグメンテーション	外部で培養した微生物を導入することにより浄化を行う
②バイオスティミュレーション	栄養物質等又は酸素を加えて浄化場所に生息している微生物を活性化することにより浄化を行う
③ファイトレメディレーション	植物を利用して土壌の浄化等を行う

微生物を利用するバイオレメディエーションの中でも特に、**バイオオーグメンテーションについては、主に難分解性化学物質の汚染に対して、近年、環境汚染浄化技術としての注目が高まっており、今後の利用拡大が期待されています。KAB による環境浄化はバイオオーグメンテーションに分類されます。**

### ■ゼロエミッション

1994年に国連大学が提唱した考え方で、あらゆる廃棄物を原材料などとして有効活用することにより廃棄物を一切出さない資源循環型の社会システムをいいます。

「資源循環型社会形成への貢献」に向けて、JFSは、**実現手段3Rにおいて、廃棄物の発生抑制(リデュース)を最優先課題として取り組み、社会全体の廃棄物の低減に貢献します。**

※3R: 発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)

### ■環境対策の『成果の見える化』と『コスト削減』の実現

- ▶余剰汚泥を対象とした取り組み事例
  - 成果の見える化…余剰汚泥ゼロ化
  - コスト削減…設備稼働費、薬品費、産廃処分・運搬費の削減

以上